



夏の思い出 ~5年生「山・海・島」体験活動~

3年ぶりに、夏休み中の7月27日~29日の2泊3日で5年生が「山・海・島」体験活動で国立吉備青少年自然の家へ行きました。初めての宿泊行事・他校の児童との活動ということで、最初は緊張気味でしたが自然と仲良くなれました！



油木小の5年生たちは3日間通して、集合の仕方や話の聞き方など、他校の児童のモデルとなる行動ができていました。素晴らしいです！



雲の合間から見える中秋の名月、とても幻想的でステキでした。

さて、二期が始まり、子ども達の声が油木小学校に戻り、活気が出ています。これからも、子どもの笑顔や元気がいっぱいの油木小学校であり続けられるようにしたいと改めて感じたスタートです。

二期に向けて本校では2つのテーマを掲げています。

- 授業で学力をつけること
- 行事を通して成長すること

児童にも始業式でこの2点について話をしました。



一点目の「授業で学力をつけること」については、当たり前のことではありますが、一学期につかんだ課題を活かして授業の進め方や対応の仕方を工夫することで、より一層子どもの学びが促進されるように改善してまいります。また、令和4年度の全国学力・学習状況調査(小6)の結果を受けて、本校の指導のあり方を見直し、1年生から連続する学びのどこに課題があったかなどを整理しています。それらのことを二期は重点的に取り組む所存です。

二点目の「行事を通して成長すること」については、たくさんの行事を通して、経験を積み、興味関心を広げること等、教科指導だけではなく、より広い観点から子どもの成長を願っての設定です。経験や思い出を増やすこと、初めての体験やできたという実感を積むこと、いつもとは違うことに気づいたり感じたりすること、人と様々ななかかわりを持つこと等を重点において取り組みます。これらのことによって得られたことは、きっと今後の人生で大きな力になると信じています。

授業の工夫や行事を通して、子ども達がどんなことに気づき、考え、学ぶのか、今からとても楽しみです。

二期も教職員一同、力を結集して前進いたします。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 辻 雅人

ご協力ありがとうございます！

油木小学校では、ペットボトルキャップを回収しています。回収したペットボトルキャップは、ワクチンの購入に役立てていただいています。現在、この1年間で大きなポリ袋に2袋半ほど集まっています。児童や保護者はもちろん、南油木自治振興会有志様をはじめ、地域の方々からたくさんご協力いただいています。

大変ありがとうございました。



10月の主な行事予定

- 3日(月) 街頭指導
- 4日(火) 学校運営協議会
- 6日(木) 広島交響楽団演奏鑑賞会(5・6年)
- 7日(金) 社会見学(全校)
- 11日(火) 第4回 PTA 総務委員会
- 14日(金) 本物体験事業(神石高原ティアガルテン)
- 13日(木) 読み語り(ゆきんこ・地域ボランティア)
- 17日(月) 街頭指導
- 19日(水) 高原ランチ
- 27日(木) 集金日
- 28日(金) 学習発表会(PM)

令和4年度全国学力・学習状況調査を受けて

今年度4月に実施した、「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校では学力の現状(成果と課題)を次のように分析し、2学期以降の各学年の授業の改善に努め、一人ひとりの学力の伸長につなげてまいります。

	国語	算数	理科
本校	61	63	63
広島県	67	64	66
全国	65.6	63.2	63.3
よくできている設問	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 物語文の人物像や全体像を想像する。 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。 2つの数の最小公倍数を求めることができる。 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察の視点を基に、解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができる。 昆虫の体のつくりを理解している。 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えを持つことができる。
課題があった設問	<ul style="list-style-type: none"> 立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめる。 言葉には、相手とのつながりをつくるはたらきがあることを捉える。 物語文の登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。 示された場合において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日光は直進することを理解している。 メスシリンダーの正しい使い方を理解している。 問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く前に構成メモを書かせ、書くための条件が整っているか確認させて話すための原稿を書かせる。 自分の考えを書かせ、交流場面を設定し、相手とのつながりがあることを確認する。 複数の叙述を根拠に登場人物の性格や心情を考える活動や問いを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活場面に即した問題設定を行い、割合について、図と言葉の両面で説明させる。 概数の問題場面において、切り上げ・切り捨ての考え方は生活場面のどこに生かすことができるかを考えさせる。 類似問題に取組む際に、なぜその処理を行ったのか理由を言語化して説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 光の学習では、予想の根拠をもたせた上で結果を比較して考察させ、光の特徴の理解を深める。 教科書のQRコードを活用し、視覚的な理解を図る。 学習展開の中で、結果の記録を自分で考えさせ、交流することでどの書き方が妥当性があるかを対話させる展開を行う。

